

営 農 情 報

令和4年7月12日発行
第24号

小麦なまぐさ黒穂病に要警戒！！

現在管内にて、なまぐさ黒穂病は確認されておりませんが、今一度圃場の確認をしてください。

なまぐさ黒穂病に感染した圃場をコンバイン等で収穫した場合、病原菌が他の健全麦に感染する恐れがあるため、集荷出荷施設での受入はできません。

また、農業共済組合等による確認が必要となりますので、なまぐさ黒穂病と思われる圃場が発見された場合は至急、営農販売課までご連絡くださいますようお願いいたします。

○発生しやすい箇所

- ・なまぐさ黒穂病は圃場の取り付け（機械の入り口）に発生する傾向にありますので、特に留意して観察してください。

○特 徴

- ・感染した株は出穂頃から草丈が健全株に比べ短くなる傾向にあるが、発生が軽微な場合は外観上の識別が困難である。
- ・成熟期が近づくと穂が暗緑色となり、内部は茶褐色の胞子で満たされる。
- ・被害粒は黒く変色し、丸みを帯びた形状となる。
- ・臭いを嗅いでみると生臭い魚の腐ったような臭いを放つ。

JAみねのぶ 営農販売課

TEL : 0126-67-2334